

七ヶ浜レポート 9月

復興まつり① (9月10日 開催)

空と大地に、大輪の花を！



9/10、菖蒲田浜海浜公園にて「復興まつり」が開催されました！

ボラバス33陣、弾丸組を含む約500人が浜清掃に参加！土のう袋を片手に丁寧にゴミを拾い上げ、みるみるきれいになっていきました。

会場では、地元住民の方から「震災以来海が憎くて一度も見ていない」「海のそばが会場になっているから、来るのに勇気が必要だったの」「さっきもお友達と一緒に泣いちゃったの…」との声も。14:46には、全員海に向かって手をつないで黙とうをしました。鐘の音の間、波音を聞きながら皆さんはどんなことを思ったのでしょうか。

その後、七ヶ浜町の町花「ハマギク」を松林に植え、メッセージボードに願いを書き、それぞれの思いを菖蒲田浜にこめました。

そして夜。約700発の花火が打上げられました！とても近くだったので、空に花火が昇っていく音や光がしっかり見え、降ってくるかのようにならたちの頭上で輝いていました。火の粉が消えるまでの時間、皆余韻に浸り、それぞれの思いが七ヶ浜に込められたことでしょう。

日中の暑さも、日頃の切なさも吹き飛ばすようなアツイ1日となりました。



七ヶ浜レポート 9月

復興まつり② (9月11日開催)

震災から6カ月 浜への誓い



震災からちょうど半年の今日。名古屋から訪れた約40人は、前日のまつりの会場にもなった「菖蒲田浜」清掃活動に参加しました。その後、これまでの支援活動でお世話になった地元の方7名を囲んで、この半年間のお話をうかがう交流会の場を設けました。地元の方々は震災直後の生々しい状況を再現し、つらく長い避難所や仮設住宅での生活について話してくださいました。ある方は、津波で流された家の跡に残っていたという白黒写真を見せてくださり、そこに映っている昔のお母さんの姿を指さして「これを見ればまだがんばれる」と。またある方は、全国から駆けつけたボランティアに対して「また来るからね、と言ってくれるたびに心に響く。あたたかい言葉だ」と、全国から駆けつけたボランティアに対してのお気持ちを、しみじみと語ってくださいました。



11日の浜清掃は、日本サーフィン連盟が主催する「ビーチクリーンACT2011」の一環で、全国から100人を超えるボランティアが集まり一緒に活動しました。大小の流木から発砲スチロールの破片や漁網まで、浜に流れ着いていたさまざまなものを片付けました。震災直後は、がれきの山で近づけなかった浜も、すっかりときれいになってきましたが、堤防や隣接する海浜公園はまだ津波の傷跡が残り、本当の復興は、まだまだこれからだと感じさせます。最後に全員で海に向かって黙禱し、記念写真も撮りました。

